



**問** 保育園・こども園での使用済み紙おむつの回収について問う

市で回収処分する意向を表されたことについては大いに賛同するところだが、令和4年12月議会では「国の公定価格への反映など標準的な保育サービス化により実現することが望ましい」と答弁された。

現段階ではまだ国の公定価格には反映されていないが、当事業を実施する目的、概要および理由、また、このタイミングで事業化された理由は。

**答** 国の通知や現場の要望などを総合的に勘案し実施していく

本年1月23日に国から「保育所等における使用済み紙おむつの処分を推奨する。処分費用は公定価格の対象外であるが、使用済み紙おむつの保管用ごみ箱の購入等については補助金を積極的に活用されたい」旨の通知があった。また令和4年10月13日に津私立保育園協議会から、会員32園中17園が自主的に回収しているが、市の支援により全園でやりませんかという要望をいただいた。これらを総合的に勘案し、議場での議論も踏まえ、また、保育士や保護者の負担を軽減したい思いもあり、私立は市の補助により、公立は追加の経費なく実施できる見通しがついたため、今回提案した。

その他の質疑・質問

- 令和5年度津市一般会計補正予算（第4号）
- 生活応援商品券発行事業
- 小学生ライフプラン教育事業
- 保育士・幼稚園教諭等就労開始応援事業
- 保育園・こども園における不適切保育の現状
- 中勢グリーンパークの管理・運営
- 成果連動型民間委託契約方式（P F S）導入検討

民間企業のノウハウを生かし、リニューアルオープンした中勢グリーンパーク



**問** 県道一志美杉線道路拡幅と室ノ口バイパス工事の早期完工を

県道一志美杉線は、一志町と美杉町を結ぶ広域幹線道路であり、沿線住民の重要な生活道路でもある。特に、美杉町下之川・多気・丹生俣の住民からは大きな期待が寄せられており、2車線化の早期整備が強く望まれている。また、室ノ口バイパス工事についても「工事が進んでいないのでは」との地元住民の声を聞くが、両工事の進捗と今後の予定は。

**答** 県と連携しながら、順次工事を進めていく

県道一志美杉線の矢頭トンネルから室ノ口までの区間については、三重県において全線2車線化事業に先行し、令和3年度末までに21カ所の待避所の整備が行われ、現在、22カ所目の整備と23カ所目の用地調査等が進められている。なお、室ノ口バイパスについては、全長1.8キロメートルのうち約1キロメートルが事業化され進められているが、トンネル坑口の予定箇所付近で公図と現地のずれが判明し、津市の地籍調査事業と連携して進めることとなり、令和4年度に現地調査等が完了した。令和5年度はその成果を三重県へ認証請求等し、その後、用地交渉などが進められる。

その他の質疑・質問

- 保育所等の待機児童解消について、子育て家庭にも介護保険のような支援はできないのか、こども基金を創設し、安定した子育て支援の充実を
- 新型コロナウイルス感染症5類移行を受け、今後のイベント等の考え方や、現在の地域かがやきプログラムをどのように見直すのか
- 出水期を迎え、本市の危機管理体制は **など**

早期着工が望まれる室ノ口バイパス

